



平成30年4月20日（金）
荒川水系渇水調整協議会
（事務局：関東地方整備局）

記者発表資料

平成30年度
第1回荒川水系渇水調整協議会
（春季定例会）の開催結果について

1. 開催状況

日時：平成30年4月19日（木） 9:30～

場所：さいたま新都心合同庁舎2号館14階 災害対策本部室

協議会構成：国土交通省関東地方整備局、農林水産省関東農政局、
東京都、埼玉県、独立行政法人水資源機構

協議会の目的：荒川水系の渇水時における円滑な水需給の調整を図る。

2. 開催結果

別紙のとおり

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、
東京都庁記者クラブ、水資源記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 河川部 河川環境課 河川環境課長 吉川 宏治（内線）3651 建設専門官 延常 浩次（内線）3652 水政課 水政調整官 石川 喜則（内線）3515 水政課長 福島 信之（内線）3551 課長補佐 井上 和昌（内線）3557	住所 〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館 電話 （代表） 048-601-3151
--	---

現状と今後の対応

(1) 現状

- 降水量（秋ヶ瀬地点上流域平均）の状況
 - 1月の降水量は27mm（平均値に対する割合77%）
 - 2月の降水量は17mm（平均値に対する割合41%）
 - 3月の降水量は160mm（平均値に対する割合235%）
 - 4月17日までの累加降水量は13mm（4月の累加降水量の平均値は95mm）
- 荒川4ダムの貯水状況（4月18日0時現在）
 - 貯水量は同時期の平均貯水量を上回っています。
 - 貯水量10,987万m³、貯水率76%、平均値に対する割合115%

(2) 今後の見通し

- 気象庁発表の気象情報（1ヶ月予報；4月14日から5月13日までの天候見通し）によると、向こう1ヶ月の降水量は「平年並」の確率が40%となっています。
- 荒川4ダムの貯水量は平年を上回っていますが、これからは水需要の多い時期となることから、今後の降雨状況によっては、ダムの貯水量が不足すること考えられます。

(3) 今後の対応（案）

- 今後は、荒川流域の降雨状況、農業用水や都市用水の水利用を十分考慮して、既存施設等を広域的かつ効果的に活用し、きめ細かい運用を行っていきます。
- 荒川ダム群の貯水量や降水量の状況等の情報提供を引き続き、積極的に行っていきます。
- 荒川水系渇水調整協議会としては、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。

荒川ダム群等の現状と今後の見通しについて



滝沢ダム(平成30年4月10日撮影)

平成30年4月19日

関東地方整備局

1. 荒川4ダム等の現状

(1) 秋ヶ瀬地点上流域平均降水量の状況（平成30年4月17日までの降水量）

《平成29年》

4～6月、及び9月が平均値を下回りました。特に6月の降水量は70mmと平均値（昭和40～平成28年の月平均）の半分以下の少雨となりました。一方で10月の降水量は、台風20号、及び台風21号により488mm（月間平均値に対する割合は337%）であり、昭和40年以降の53年間で2番目に多い降水量となりました。

しかし、11月、12月は平均を大きく下回る少雨となりました。

《平成30年》

平成30年に入ってから、1月、2月は平均値を下回り、3月になって160mm（月間平均値に対する割合は235%）と、昭和40年以降の53年間で最も多い降水量となりました。

なお、4月の降水量は、17日までの累加で13mmとなっています。（4月の月間平均値は95mm）

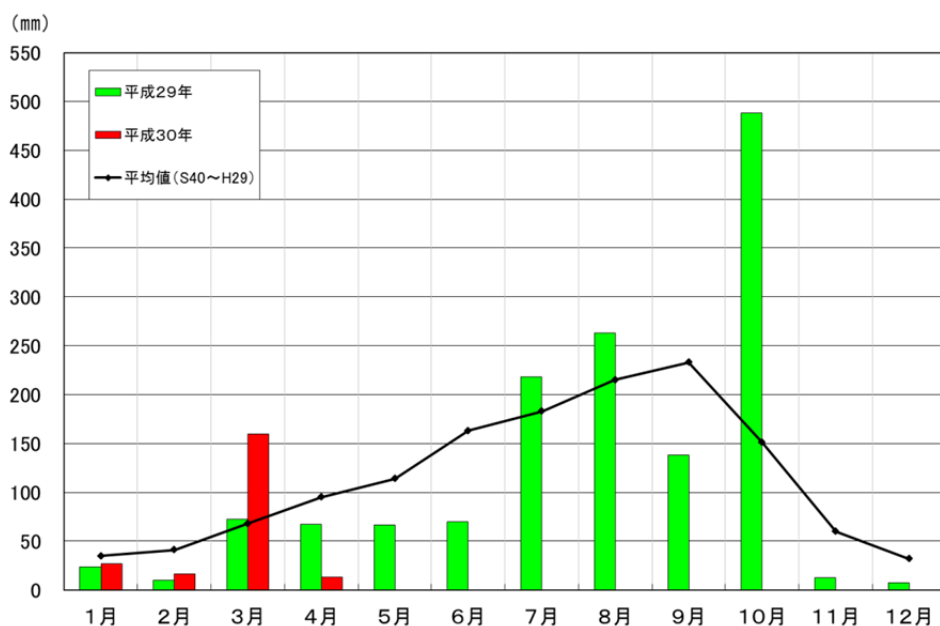


図-1 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量

表-1 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（平成30年4月17日まで）

単位(mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	摘要
昭和62年	16	29	66	8	66	88	146	103	280	91	46	36	975	利根川・荒川夏渇水
平成2年	22	67	83	138	48	55	77	228	473	134	301	31	1,657	利根川・荒川夏渇水
平成4年	26	15	118	136	117	250	87	177	63	285	52	29	1,355	荒川夏渇水
平成5年	82	34	37	44	76	186	275	276	204	112	113	25	1,464	荒川夏渇水
平成6年	42	44	64	25	111	103	152	142	344	119	21	24	1,191	利根川・荒川夏渇水
平成7年	24	25	111	44	129	239	177	109	180	73	24	0	1,135	荒川夏渇水
平成8年	1	22	55	62	80	47	204	32	314	74	57	17	965	利根川・荒川冬夏渇水
平成9年	21	13	57	70	187	168	148	72	204	7	87	21	1,055	利根川・荒川冬渇水
平成13年	98	17	98	30	179	120	69	279	444	247	67	9	1,657	利根川夏渇水
平成24年	36	54	93	86	257	217	102	65	245	93	54	33	1,335	利根川夏渇水
平成25年	35	18	37	152	36	172	94	77	238	327	17	46	1,249	利根川夏渇水
平成28年	75	53	74	72	44	119	90	462	247	31	87	60	1,414	
平成29年	24	10	73	67	67	70	218	263	138	488	13	7	1,438	荒川夏渇水
平均値(S40~H29)	35	41	68	95	114	163	183	215	233	151	60	32	1,390	
平成30年	27	17	160	13									217	
平均値に対する割合(%)	77	41	235	14									16	

※ 荒川取水制限実施月（一時緩和含む） ※秋ヶ瀬上流域面積 2,021km²

(2) 荒川4ダムの貯水状況等（平成30年4月18日0時現在）

《平成29年》

1月は平年並みの貯水量でしたが、2月の少雨とダムからの補給により、3月末頃には貯水率が50%を下回るまで減少しました。その後、4～6月までの少雨の影響により、7月26日には、4ダム体制になって過去最低の貯水量（4,288万m³）を記録しました。

荒川においては、7月5日から8月25日の52日間（一時緩和期間を含む）にわたり10～20%の取水制限を実施しました。取水制限は平成9年以来、20年振りとなり、20%取水制限は平成6年以来、23年振りとなりました。（20%の取水制限は7月21日から8月6日まで）

《平成30年》

前年末から降水量が少ない状況が続き、下流での取水、流況の維持のため、ダムからの補給を継続したこともあり、2月末頃に平均を下回るまで貯水量が低下しましたが、その後のまとまった降雨により回復し、平成30年4月18日0時の貯水量は10,987万m³、貯水率76%（貯水量の平均値（平成22年～平成29年）に対する割合は115%）となっています。

（表－2、図－2参照）

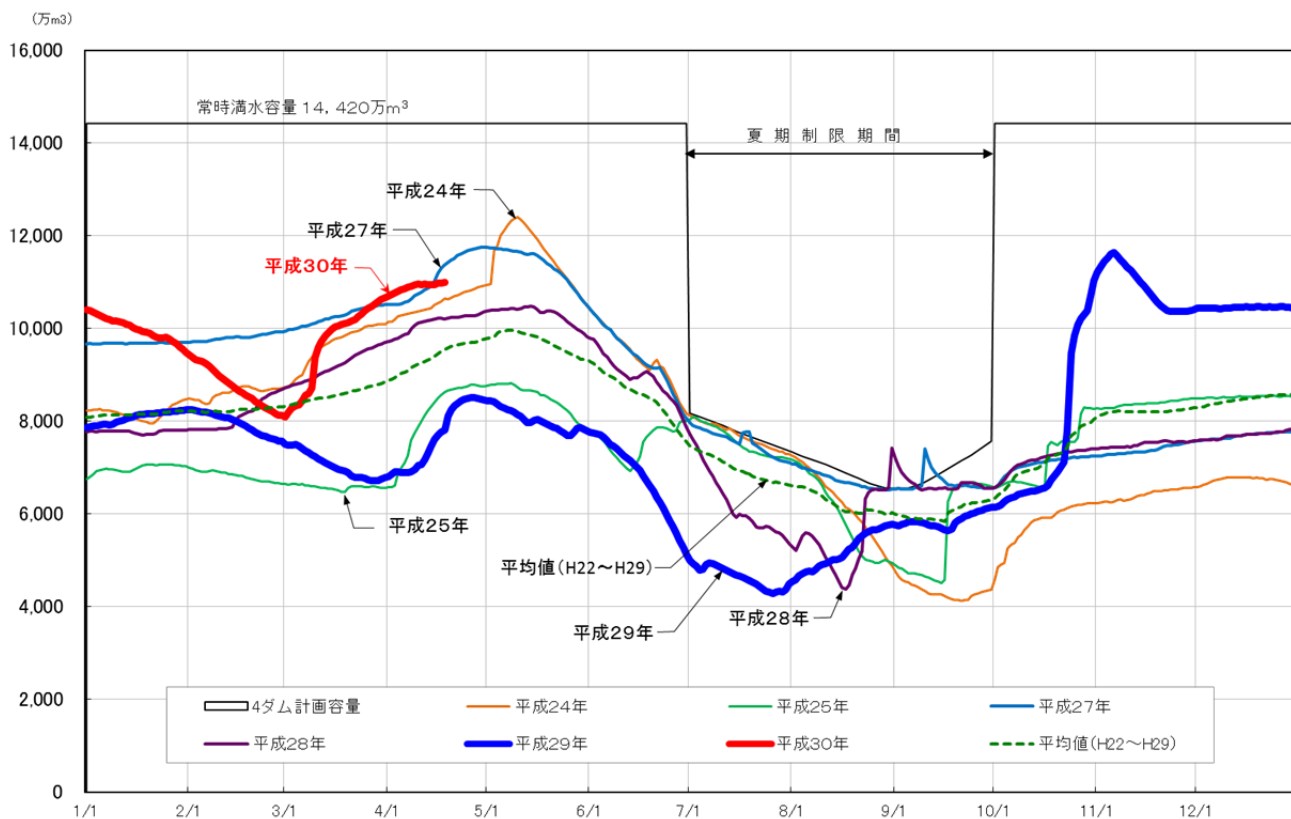
表－2 荒川4ダム貯水量（平成30年4月18日0時現在）

ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)	前日補給量 (万m ³ /日)
二瀬ダム	2,000	1,516	76	－10
滝沢ダム	5,800	4,766	82	－7
浦山ダム	5,600	3,845	69	－1
荒川貯水池	1,020	860	84	0
4ダム合計	14,420	10,987	76	－18
4ダム合計の平均値 (平成22年～平成29年)		9,539	(平均値に対する割合 115%)	

※有効容量は、常時満水容量

※貯水率は、常時満水容量に対する貯水量の割合

※前日補給量とは、前日の貯水量と本日の貯水量の差（値が負の場合は、放流量より流入量が多く、ダムに水を貯留している状況です。値が正の場合は、流入量より放流量が多く、ダムに貯留した水を流している状況です。）

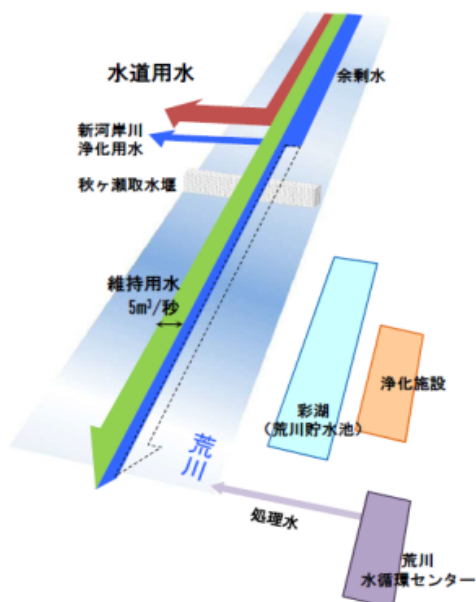


図－ 2 荒川4ダム貯水量図（平成30年4月18日0時現在）

(3) 荒川第一調節池浄化施設の運用状況

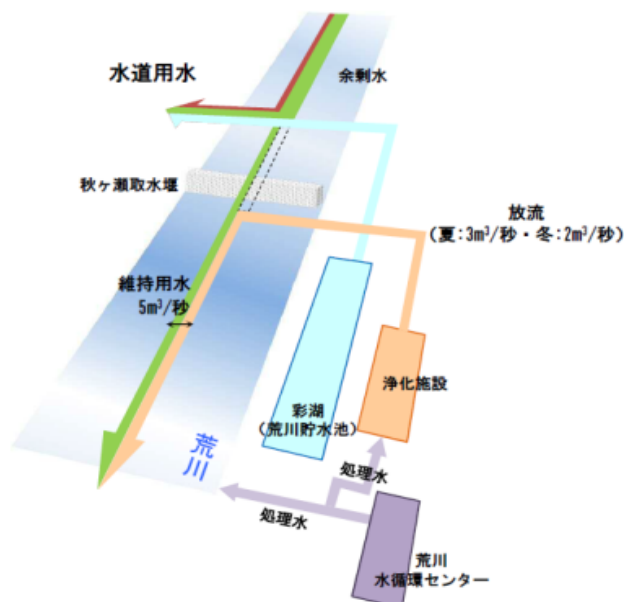
荒川本川流量で水道用水が取水できるとき

- ・堰上流に必要な水量を取水します。
- ・余剰水は堰下流へ放流するとともに、新河岸川への浄化用水として利用します。
- ・彩湖の貯水量が少ない場合には彩湖に取水することもあります。



荒川本川流量で水が足りないとき

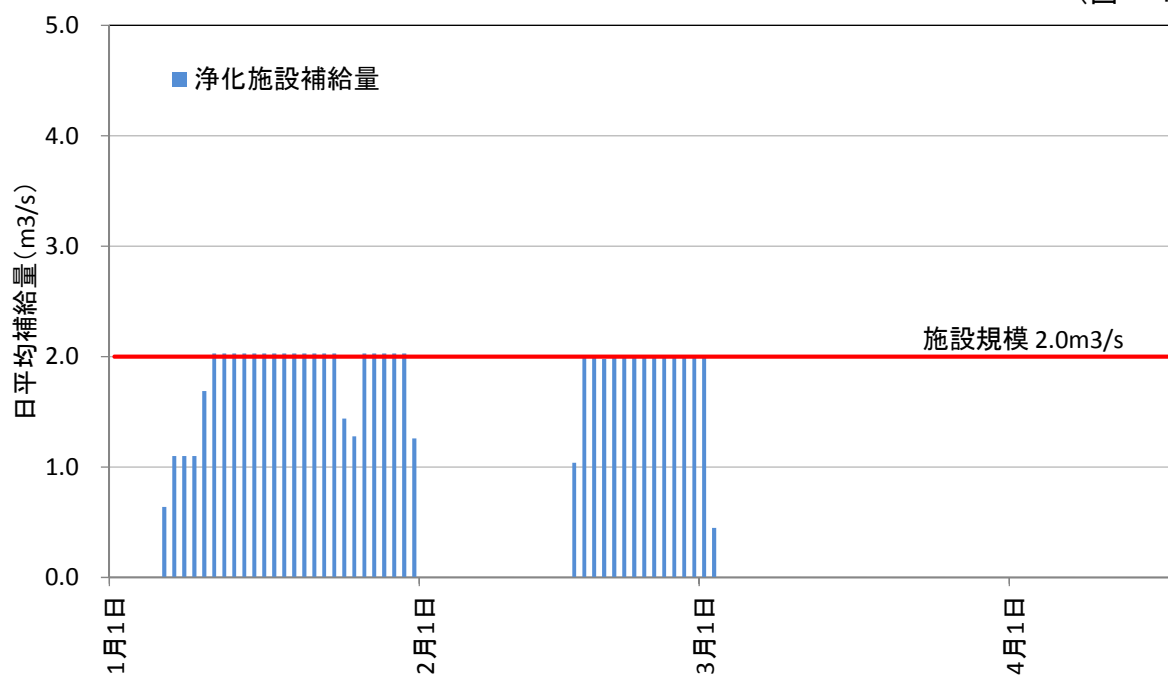
- 水道用水を確保するため、
- ・彩湖(荒川貯水池)から堰の上流に補給します。
- ・下水処理水を浄化施設に導水して浄化し、堰の下流に放流します。これにより、秋ヶ瀬取水堰は下流への放流量を減らすことが可能となり、結果として堰上流で水道用水の取水が可能となります。



図－ 3 荒川貯水池及び浄化施設による利水補給

平成30年1月5日から3月2日までに約650万m³（41日間）の補給をしています。

（図－ 4 参照）



図－ 4 荒川第一調節池浄化施設の運用状況

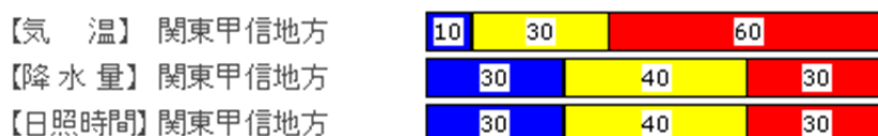
2. 今後の見通し

(1) 気象予報

平成 30 年 4 月 12 日気象庁発表の関東甲信地方の 1 か月予報(4 月 14 日から 5 月 13 日までの天候見通し)によると、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多く、向こう 1 ヶ月の降水量は「平年並」の確率が 40%となっています。また、3 月 23 日気象庁発表の 3 か月予報(4 月から 6 月までの天候見通し)によると、4 月の天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多く、降水量は「少ない」確率が 40%となっています。5 月の天気は数日の周期で変わり、降水量は「平年並」の確率が 40%となっており、6 月は平年に比べ曇りや雨の日が多く、降水量は「平年並」または「多い」確率がともに 40%となっています。

なお、2 月 23 日気象庁発表の暖候期予報(6 月から 8 月までの天候の見通し)によると、6 月から 7 月は平年と同様に曇りや雨の日が多く、その後は平年に比べ晴れの日が多く、降水量は「少ない」確率が 40%となっています。

1 か月予報(平成 30 年 4 月 12 日発表)



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3 か月予報(平成 30 年 3 月 23 日発表)

【降 水 量】

〔関東甲信地方〕



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

暖候期予報(平成 30 年 2 月 23 日発表)

〈夏(6 月～8 月)の気温、降水量の各階級の確率(%)〉



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

(2) ダム・貯水池の工事に伴う貯留制限

荒川 4 ダムのうち、二瀬ダムは施設の維持管理に必要な工事を実施するため、平成 30 年 9 月 9 日から 12 月 31 日まで貯水量を制限した運用を行う予定です。

[illegible]

図-5 二瀬ダム工事期間及び期間中の制限水位

関東地方の主要な河川と水資源開発施設

